

コ ー ス	隣接医学 (Allied Medical Sciences)		
学年・期・単位	第4学年・後期・1単位	科目担当責任者	八尾 和雄 (耳鼻咽喉科学講座・教授)
オフィスアワー	月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日 (各午前)	メールアドレス	yaokazuo@hama.kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	<p>疾病構造の変化に伴い、医療に携わるものはさまざまな医学的な知識と技術が要求されるようになってきている。歯科医師として医科がどのようなレベルでどのような内容の診断・治療を実践しているのかを知ることは、今後の豊かな技術と新たな研究分野を開拓する上で重要である。本コースでは、眼科学、皮膚科学、精神科学および耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の特色ある内容を総合的且つ系統立てて学び、将来の歯科臨床に役立つ知識を修得する。</p>		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 視覚入門	視覚の神経生理学、視器の解剖を理解する。また視力や視野検査の意味を理解する。
2. 代表的な眼疾患	実際に接した疾病のことを理解できる。また横浜研修センター内の臨床研修の際に、ある程度説明できる。
3. 眼症状を伴う全身疾患	全身疾患に伴う代表的な眼疾患の病態生理とその治療を理解する。
4. 皮膚科学	皮膚の構造、機能の詳細について理解する。皮膚疾患全般の基本的事項を理解し、そのうえで口唇、口腔粘膜病変をさらに理解する。発疹などの皮膚症状について、正しい表現のしかたを身につけるとともに、皮膚科の専門的な検査法や皮膚科独特の治療法を理解する。
5. 精神科学	代表的な精神疾患や心身症 (歯科領域の疾患を含む) について、病態・診断法・治療法を学ぶ。疾患を身体面、心理面、社会面から統合的に考える能力を養う。
6. 耳科学	耳の領域の解剖と生理及び病態について理解する。
7. 鼻科学	実際症例を示すことで鼻の領域の解剖と生理及び病態を理解する。
8. 口腔・咽頭・喉頭・気管・食道・頭頸科学	実際症例を示すことで口腔・咽頭・喉頭・気管・食道・頭頸の領域の解剖と生理及び病態を理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
現代臨床精神医学 (第11版)	大熊輝雄 著	金原出版、2008年
コア・ローテーション精神科 (改訂2版)	武田雅俊、鹿島晴雄 編	金芳堂、2007年
標準精神医学 (第4版)	野村総一郎、樋口輝彦、尾崎紀夫 編	医学書院、2009年
学生のための精神医学 (第2版)	上野武治、太田保之 編	医歯薬出版、2006年
TEXT 精神医学 (第3版)	加藤進昌、神庭重信 編	南山堂、2007年
心身医学標準テキスト (第3版)	久保千春 編	医学書院、2009年
歯科心身医学	日本歯科心身医学会 編	医歯薬出版、2003年
歯科医のための皮膚科学 第2版	山崎雙次、山本浩嗣、山根源之	医歯薬出版
歯科医のための耳鼻咽喉科学 第2版	飯沼嘉孝 その他	医歯薬出版

参考書		
書名	著者名等	発行所
イラスト眼科 第6版	渡邊郁緒、新見勝彦	文光堂
皮膚科学	上野賢一	金芳堂
皮膚病アトラス	西山茂夫	文光堂
新耳鼻咽喉科学	切替一郎 編	南山堂

評価法 (EV)
<p>眼科学 (25%)、皮膚科学 (25%)、精神科学 (25%) および耳鼻咽喉科学 (25%) から構成される隣接医学の後期試験、および出席状況、授業態度により総合評価する。</p>

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/2	視覚入門	1. 視覚の生理的機能とその機序を説明できる。 2. 視覚器の構造と機能を説明できる。 3. 交感神経系と副交感神経系の構造を説明できる。 4. 頭頸部の神経の名称を列挙できる。 5. 感覚器機能検査を列挙できる。	主要部分をパワーポイントを用いて解説する。	原直人	総Ⅱ-(Ⅳ)-18-A 必3-A、B 総Ⅱ-(Ⅱ)-1-G-c 総Ⅱ-(Ⅳ)-18-a
2	9/9	代表的な眼疾患を伴う全身疾患	1. 白内障、加齢性黄斑変性症など加齢に伴う変化を説明できる。 2. 顔面痙攣の原因と治療を説明できる。 3. 頸部疾患を説明できる。 4. 糖尿病と眼疾患との関係を説明できる。 5. 高血圧と眼疾患を説明できる。 6. Sjögren 症候群を説明できる。 7. 口腔粘膜疾患と類似疾患を説明できる。	同上	原直人	D-2-4)-① F-2-1)-①②④ F-2-4)-(5)-② F-2-4)-(6)-①② 各Ⅳ-(Ⅸ)-1-C-a 必14-Y-Zb 各Ⅳ-(Ⅶ)-7-B 各Ⅳ-(Ⅷ)-1-B、C 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-c、f
3	9/16	皮膚科学Ⅰ	1. 皮膚の組織構造を図示して説明できる。 2. 皮膚の細胞動態と角化、メラニン形成の機構を説明できる。 3. 皮膚の免疫防御能を説明できる。 4. 皮脂分泌・発汗・経皮吸収を説明できる。 5. 口腔粘膜と皮膚との構造の違いを説明できる。	教科書・プリント・カラーライドなどを用いて臨床講義形式で行う。	菅谷和江 (招聘講師) 八尾和雄	D-2-3)-(1)-①② D-2-3)-(4)-① 必3-A-a 必6、7 総Ⅰ-(Ⅰ)-2-A、B
4	9/30	精神科学Ⅰ	1. 精神疾患の病因について説明できる。 2. 代表的な精神症状を説明できる。 3. 代表的な心理テストを説明できる。 4. 脳波、画像検査を説明できる。	講義のポイントとなるキーワードについて授業前に調べておくこと。	宮岡等 (客員教授) 八尾和雄	F-4-5) 総-(Ⅱ)-7 必-(Ⅷ)-4-I 必-(Ⅷ)-5-C
5	10/14	精神科学Ⅱ	1. 精神疾患の病態と薬物療法を説明できる。 2. その他の治療法について説明できる。	同上	宮岡等 (客員教授) 八尾和雄	D-5-2),3) 必-15-Z 必-15-AB 必-(Ⅹ)-9
6	10/21	精神科学Ⅲ	1. 心身症、心身医学、心療内科を説明できる。 2. 心身症の病態について心身相関に基づき説明できる。 3. 心身症の治療法を説明できる。	同上	宮地英夫 (非常勤講師) 八尾和雄	F-4-5)
7	10/28	皮膚科学Ⅱ	1. 皮膚検査法を概説できる。 2. 皮膚アレルギー検査法を説明できる。 3. 微生物検査法を概説できる。	同上	菅谷和江 (招聘講師) 八尾和雄	F-2-4)-(2)-⑨ 必8-B-a 必9-E-a 総Ⅱ-(Ⅱ)-1-B 必10-C 総Ⅱ-(Ⅲ)-3-A、H 総Ⅱ-(Ⅳ)-18-A 総Ⅱ-(Ⅴ)-17
8	11/4	皮膚科学Ⅲ	口腔内病変の種類・治療を説明できる	同上	菅谷和江 (招聘講師) 八尾和雄	F-2-2) F-2-3) F-2-4)-(2)

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
9	11/11	耳科学	1. 耳の領域の解剖と生理及び病態について概説できる。 2. 聴力図を判読できる。 3. 伝音・感音難聴の意義を理解できる。 4. 前庭器、半規管の生理的意義を理解できる。 5. 顔面神経の解剖学的走行と臨床症状を理解できる。	B P1~34のポイントを解説する。	八尾和雄	D-2-3)-(4)-③ F-1-2)-⑧ 必4-A-e, 総1-E-d,e 各IV (IX)-1-B
10	11/18	精神科学4	1. 歯科心身症について、特徴、病態、治療法を説明できる。 2. 歯科領域の不安障害について特徴、病態、症状、治療法を説明できる。	同上	宮地英雄 (非常勤講師) 八尾和雄	F-4-5)
11	11/25	鼻科学	1. 鼻の領域の解剖と生理及び病態について概説できる。 2. キーゼルパツハ部位の血流支配を説明できる。 3. 自然口の臨床的意義を理解できる。 4. 鼻・副鼻腔のX線所見を理解できる。 5. 慢性副鼻腔炎の発症機転を理解できる。 6. 術後性頬部嚢腫の病態・症状を理解できる。 7. 上顎洞癌の解剖学的進展度に対し症状を理解できる。	B P35~57のポイントを解説する。	八尾和雄	D-2-3)-(4)-④ D-2-3)-(7)-① F-1-2)-⑧ 総-1-E-e 必4-A-e 総1-E-d,e 各II (V)-6 各IV (II)-2-D,E,F 各III (III)-4-A,B 各IV (IV)-2-A,B 各(IV)-7,
12	12/2	口腔・咽頭科学	1. 口腔・咽頭の領域の解剖と生理及び病態について概説できる。 2. 舌の知覚・運動を概説できる。 3. 耳下腺・顎下腺の腺分泌を理解できる。 4. フルダイエル咽頭輪を理解できる。 5. 副咽頭間隙の解剖を概説できる。 6. 耳下腺良性腫瘍の診断・検査所見・治療を理解できる。	B P58~75のポイントを解説する。	八尾和雄 望月高行 (非常勤講師)	F-1-2) F-2-2) F-2-3) 必4-B, 必8-B, 必9-E 総6~11, 各IV (VII) 各IV (VIII) 各(IX)-1-B,
13	12/9	口腔・咽頭科学	1. 舌癌の肉眼所見・臨床症状・治療法を理解できる。 2. ガマ腫・皮様嚢腫の鑑別と治療法を理解できる。 3. 性感染の所見・治療・症状・対処法を理解できる。 4. 口腔ビールス感染症を理解できる。 5. シェグレン症候群の臨床症状・検査の特徴を理解できる。	B P58~75のポイントを解説する。	八尾和雄	F-2-4) 各I (I)-8 各I (I)-10-C 各I (IV)-1A, 各IV (III)-5-B,C 各IV (V)-1-A,B, 各IV-(III)-B,C
14	12/16	頭頸科学 喉頭・気管・食道科・	1. 喉頭・気管・食道の領域の解剖と生理及び病態について概説できる。 2. 緊急挿管(気道確保)に必要な解剖を理解できる。 3. 反回神経の走行・臨床的意義を理解できる。 4. 喉頭癌の症状を理解できる。 5. 嚥下の生理的意義を理解できる。 6. 電気喉頭の意義を理解できる。	B P76~94のポイントを解説する。	八尾和雄 西山耕一郎 (非常勤講師)	D-2-3)-(7)-① F-2-1)-⑧ F-2-4)-(8)-② 必4-A-e 総-1-12 各III-(IV)-2-A,B
15	12/20	学 喉頭・気管・食道科・頭頸科	1. 頭頸部の領域の解剖と生理及び病態について概説できる。 2. 広範囲頸部リンパ節郭清術を理解できる。 3. ウイルヒョウリンパ節・胸管の解剖学的・臨床的意義を理解できる。 4. 甲状腺癌の診断と治療法を理解できる。 5. 甲状腺機能亢進症の症状を理解できる。 6. 橋本病の病態・症状を理解できる。 7. 正中頸嚢胞・側頸嚢胞の特徴を理解できる。	B P116~150のポイントを解説する。	八尾和雄 西山耕一郎 (非常勤講師)	D-2-3)-(7)-① D-2-3-(11)-① 必4-A, B, 総-1-6,7 各IV (I)-E 各IV (IV) 4,5,6,7,8,10,11